

ヴォクシー モデリスタ バージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番 MSD41-28003-**
品番 MSD41-28004-NP

設定型式：ZWR9#W、MZRA9#W

設定グレード：全車

このたびはモデリスタ商品をお買い上げ頂きありがとうございます。
本書はフロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

取り付け上の注意事項

★本商品は登録後架装を前提としています

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検してください。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないでください。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮してください。
また、部品に傷を付いたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 本書で指示した部品以外は、取りはずさない様注意してください。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。**
(PAC プライマー N210NT、K-500 を本品に添付)

重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置し乾燥させてください。**

重要 両面テープは、**外気温が15℃未満になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行ってください。

- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取ってください。
- ボデーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボデーコートを剥離してください。
(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう)ボデーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。
ボデーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なってください。

重要 両面テープの圧着を充分に行なってください。49N(5kgf)以上

取り付け完了後の点検・注意事項

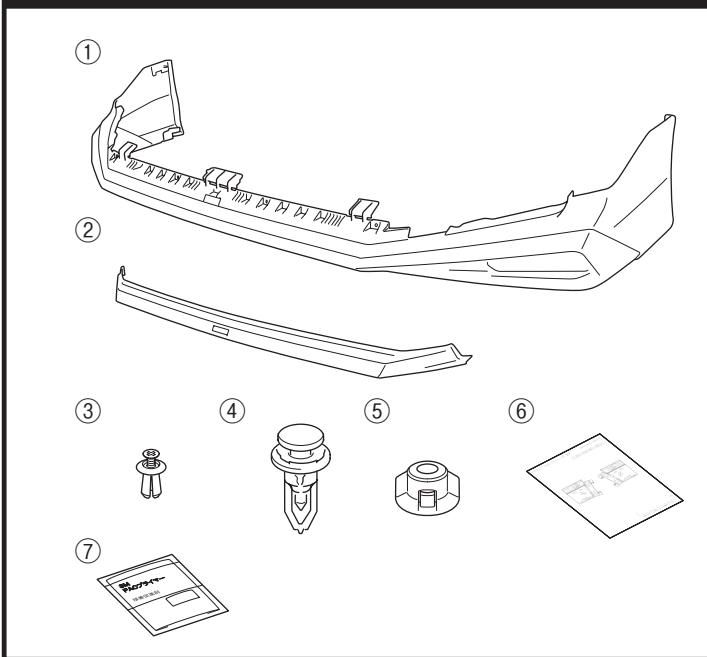
- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、フロントスポイラーとフロントバンパーカバーの間に隙間が発生するおそれがあります)

△ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス ……この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

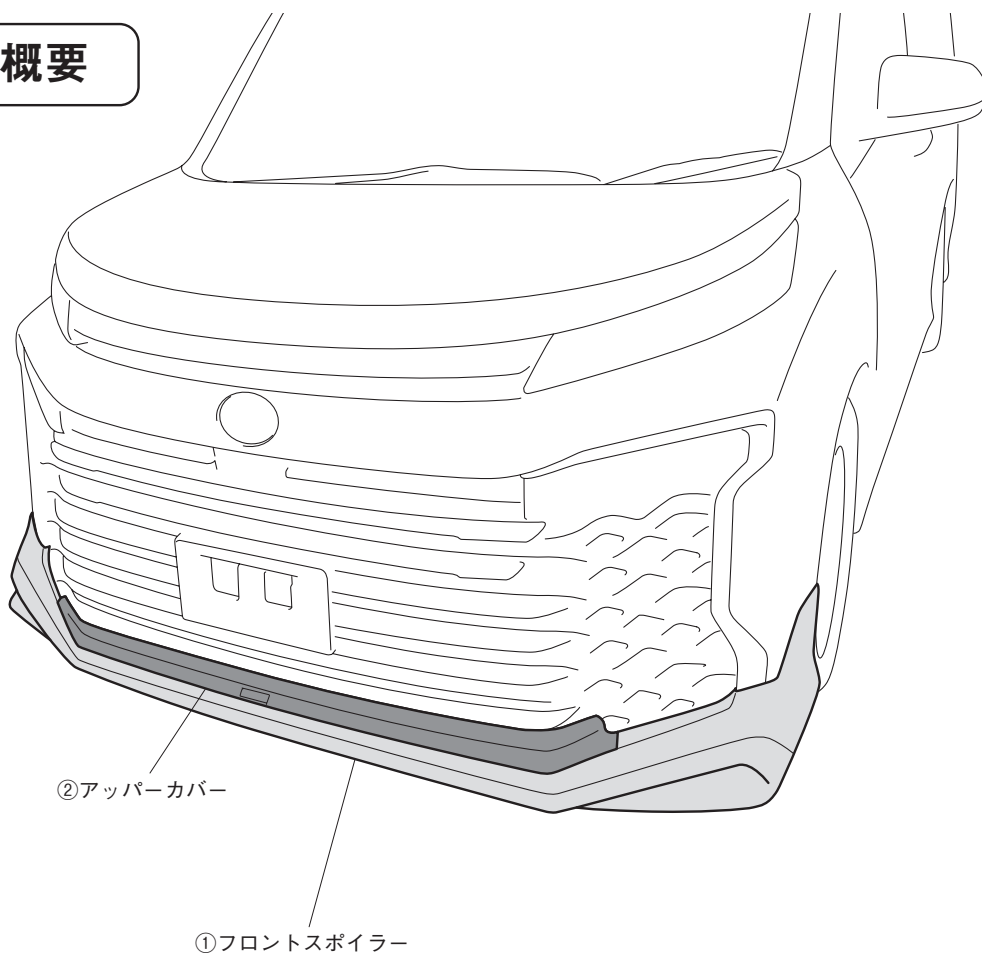
ヴォクシー モデルスタバージョン

フロントスポイラー (品番: MSD41-28003-**)
(品番: MSD41-28004-NP)



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	アッパーカバー	1
③	樹脂クリップA	4
④	樹脂クリップB	2
⑤	樹脂ナット	2
⑥	型紙	1
⑦	PACプライマー N210NT	1

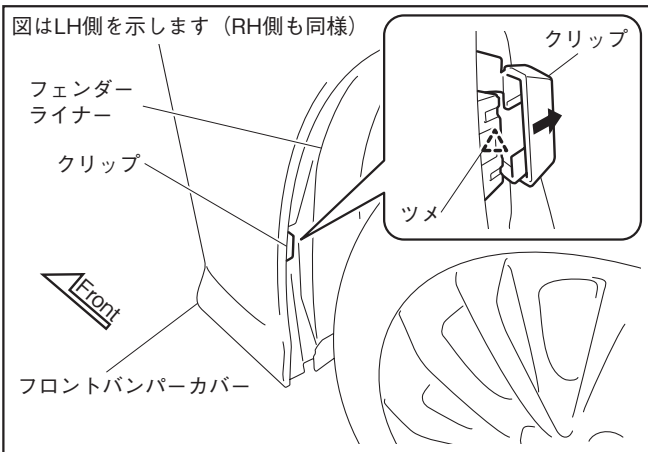
取り付け概要



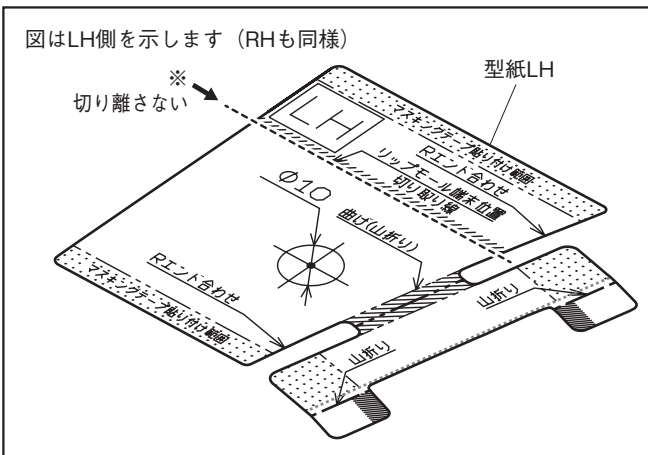
TG-BG-001

取り付け手順

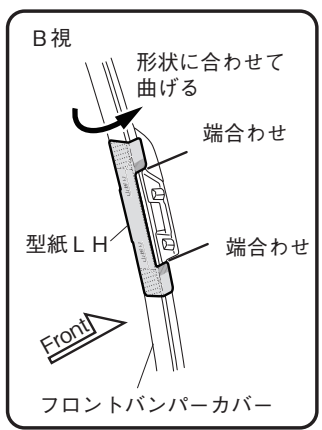
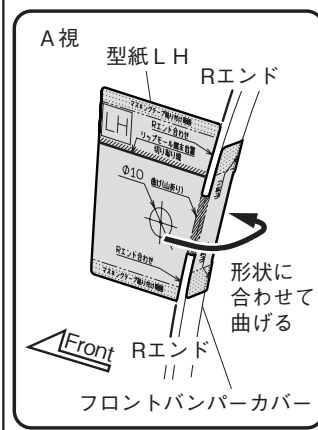
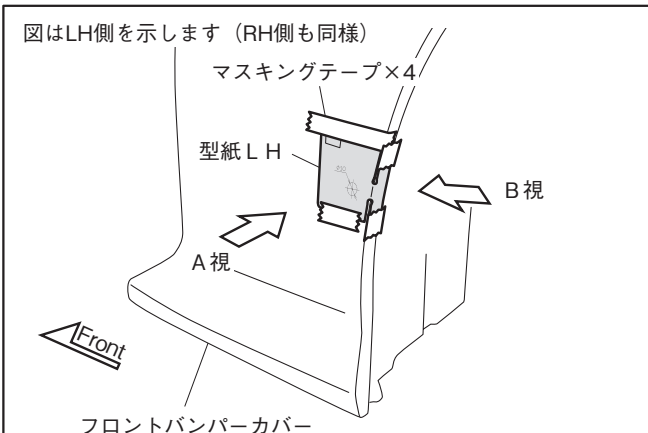
取り付け準備



TG-BG-B01



TG-BG-B02



TG-BG-B03

1. ツメ (左右各1箇所) の勘合をはずし、フェンダーライナーをフロントバンパーカバーからはずす。

2. 型紙から、型紙RH/LHを切り離す。

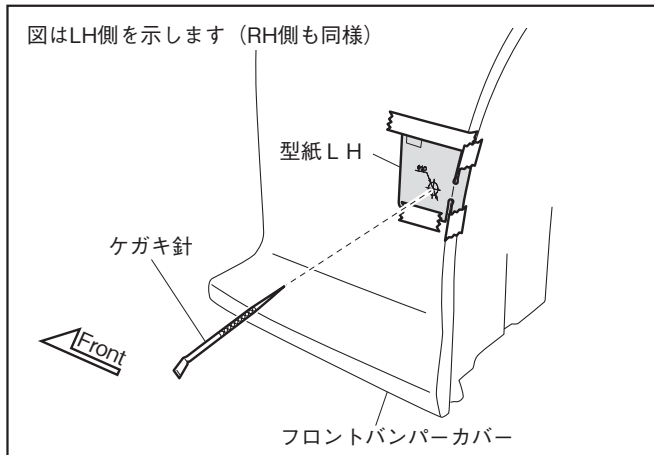
3. 型紙RH/LHを破線部に沿って折り曲げる。

⚠ 注意

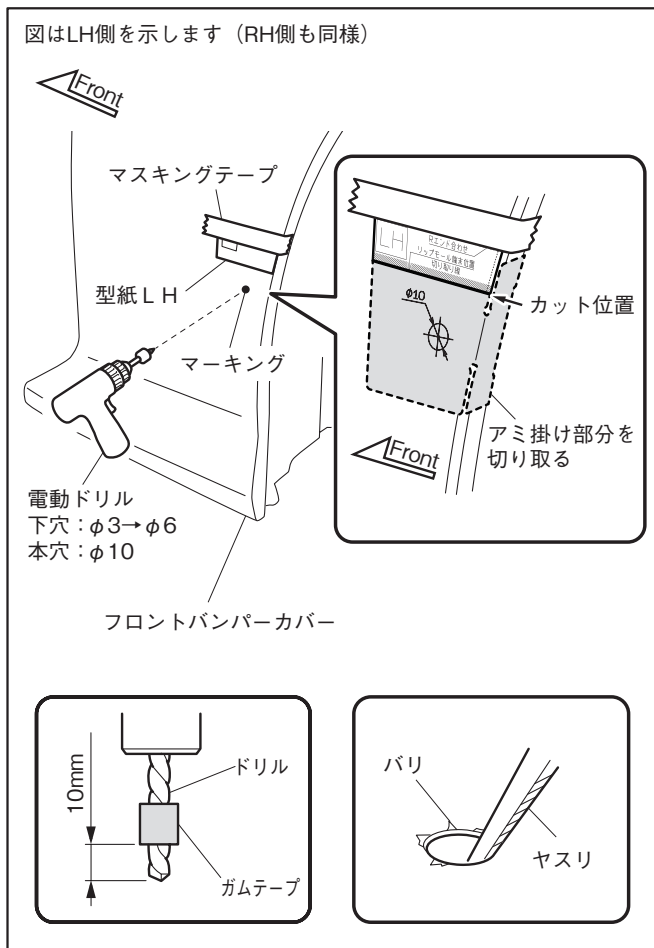
図中※で示すミシン目は、後の作業で切り離しますので、まだ切り離さないでください。

4. 図に従い、型紙LHを位置決めし、フロントバンパーカバーにマスキングテープで貼り付ける。

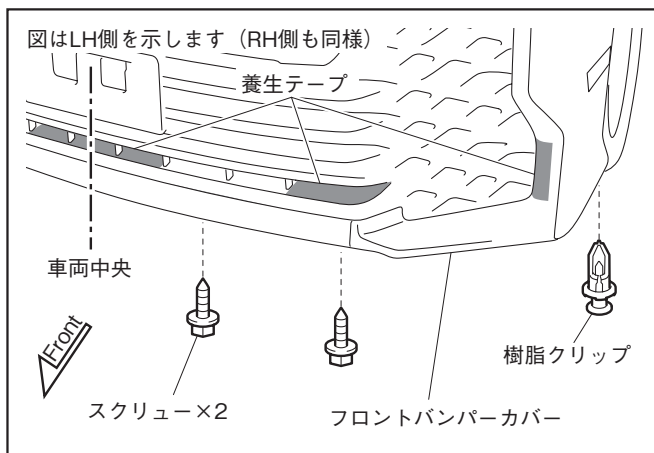
5. RH側も同様に貼り付ける。



TG-BG-B05



TG-BG-B04



TG-BG-B06

- 型紙 LH の穴開け位置中心を、ケガキ針でマーキングする。
- RH 側も同様にマーキングする。

- 型紙 LH の図中アミ掛け部を切り離す。
- 図に従い、ドリル ($\phi 3$ 、 $\phi 6$ 、 $\phi 10$) にストッパー (ガムテープ) をセットする。
- マーキング位置に、電動ドリルで下穴 $\phi 3 \rightarrow \phi 6$ を開ける。
- 下穴に、本穴 $\phi 10$ を開ける。
- 加工穴のバリを取り除く。
- RH 側も同様に加工する。

⚠ 注意

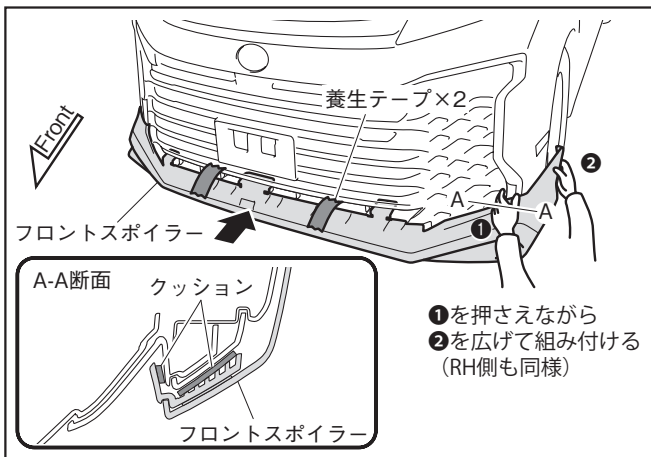
- 残した型紙は、フロントスポイラーの位置決めに使用します。位置がずれないように注意して切り離してください。
- 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
- 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
- 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれるおそれがあるため手袋等は着用しないでください。

- スクリュー (4 本) 及び樹脂クリップ (2 個) を取りはずす。

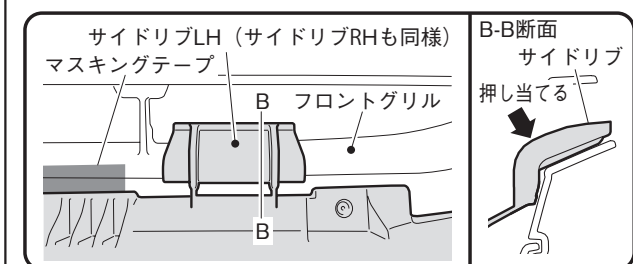
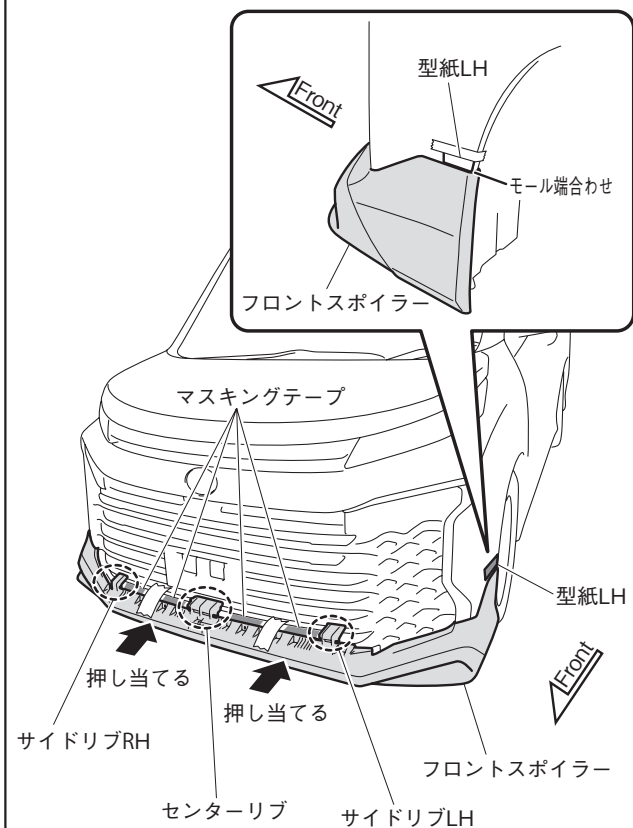
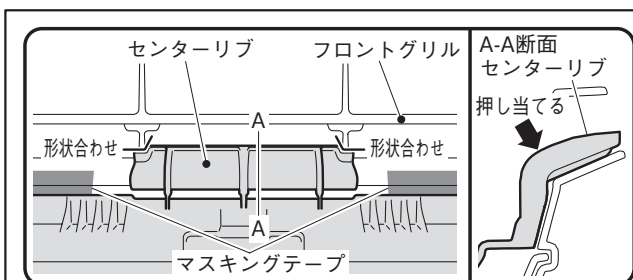
👉 アドバイス

スクリュー (4 本) は再使用しますが、樹脂クリップ (2 個) は再使用しません。

- フロントバンパーカバーの図中アミ掛け部に養生テープを貼り付ける。



TG-BG-B07



TG-BG-B08

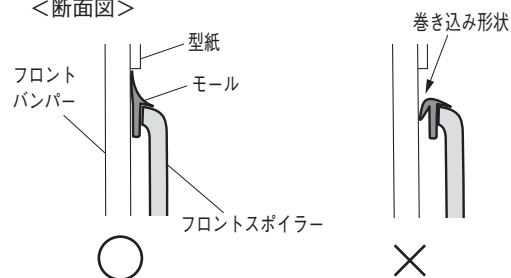
16. フロントバンパーカバーにフロントスポイラーを仮当てる。

17. 養生テープでフロントスポイラーを固定する。

⚠ 注意

1. フロントスポイラーを組み付ける際は、図中 A-A 断面で示すクッションが剥がれないよう注意してください。(以降同様)
2. 取付ボルトで車両部品に傷をつけないよう、フロントスポイラーの LH 側及び RH 側を広げながら組み付けてください。(以降同様)
3. モールのリップが巻き込んでいないことを確認してください。(以降同様)

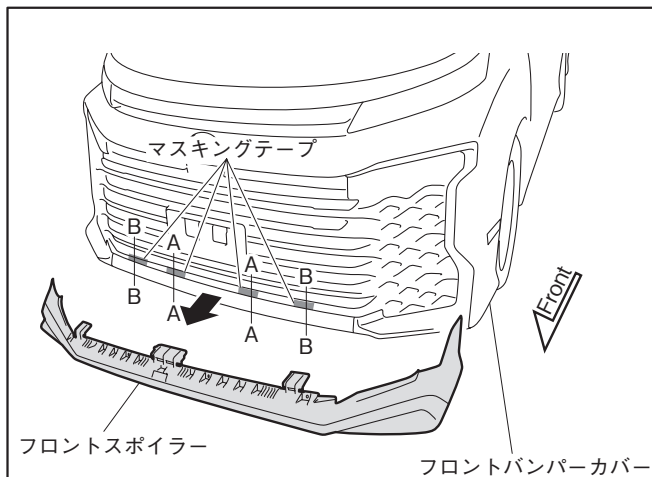
<断面図>



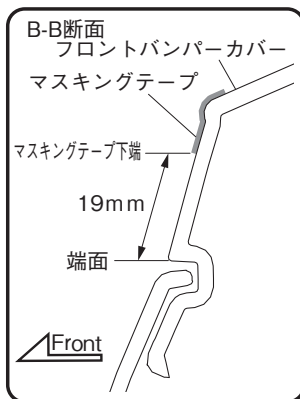
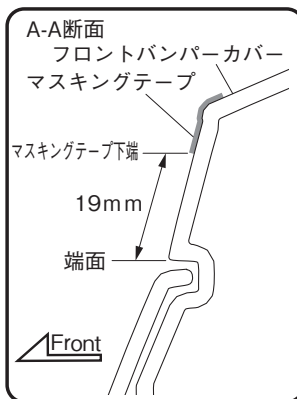
18. フロントスポイラーを押し当てながらフロントスポイラーの上端 (4箇所) に沿ってフロントバンパーカバーにマスキングテープを貼り付ける。

⚠ 注意

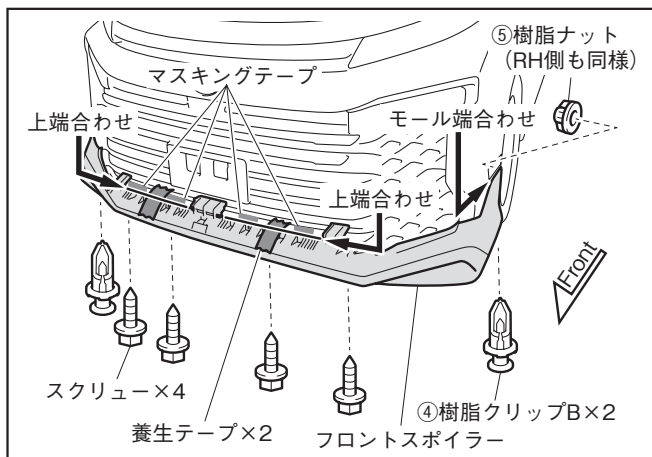
1. マスキングテープを貼り付ける際は、養生テープを剥がしながら作業し、フロントスポイラーの位置がズレないように注意してください。
2. この後、フロントスポイラーを取りはずして再取り付けする際、ここで貼り付けたマスキングテープを位置決めに使用します。マスキングテープはフロントスポイラー上端に沿って正確に貼り付けてください。



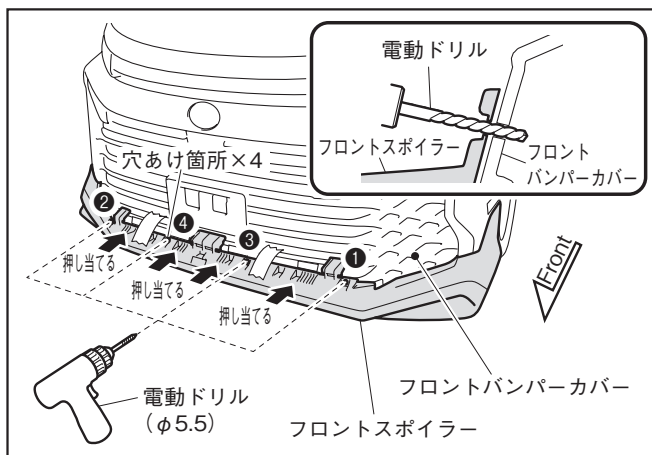
フロントスポイラー
フロントバンパーカバー



TG-BG-B17



TG-BG-B18



TG-BG-B09

19. フロントスポイラーを取りはずす。
20. 左右のマスキングテープ高さが同じであることを確認する。

注意

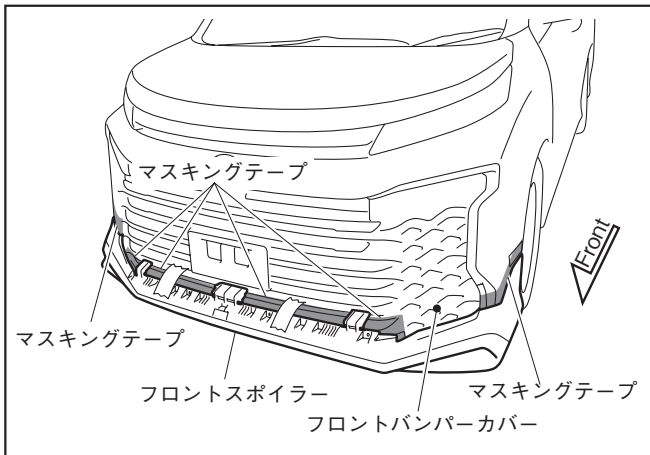
高さがずれている場合、マーキングをやり直してください。

21. 図に従い、フロントスポイラーを位置決めし、スクリュー (4本)、⑤樹脂ナット (2個)、④樹脂クリップB (2個) 及び養生テープで固定する。

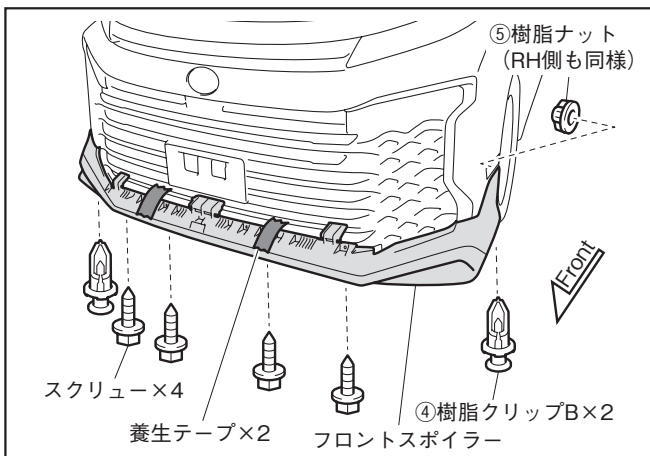
22. マスキングテープの高さ位置とフロントスポイラーの高さが合っていることを確認し、フロントスポイラーの位置決め箇所を押し当てながら、穴開け位置中心 (4箇所) に、番号順に電動ドリルでφ5.5を開ける。

注意

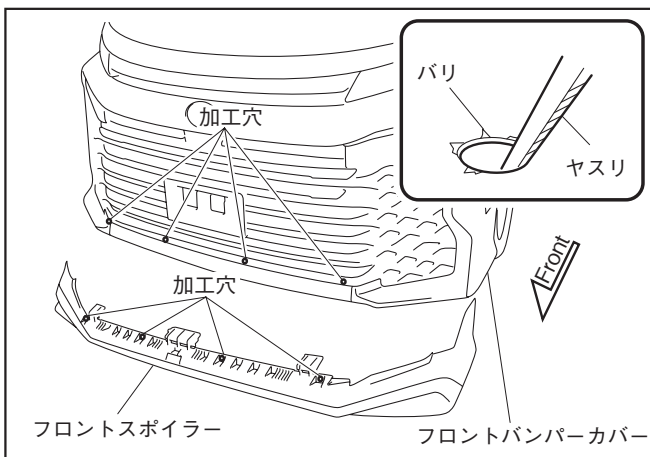
1. 電動ドリルは、穴を開ける面に対して垂直に当ててください。
2. 電動ドリルで他の車両部品を傷付けないよう注意してください。
3. 電動ドリルを使用する際は必ず保護めがねを着用してください。なお、ドリルに巻き込まれるおそれがあるため手袋等は着用しないでください。



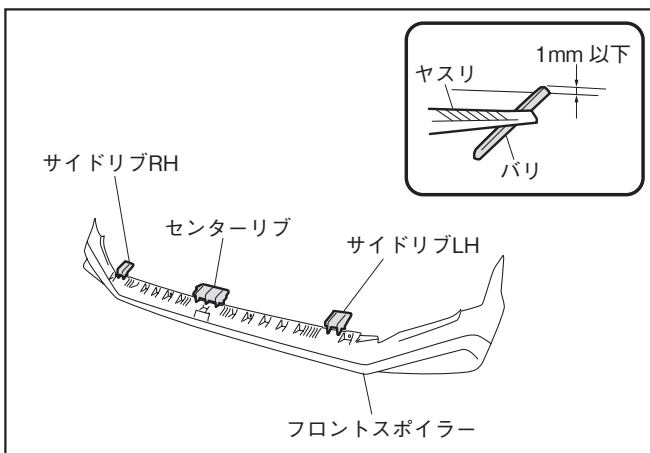
TG-BG-B10



TG-BG-B11



TG-BG-B12



TG-BG-B13

23. フロントスポイラー上端に沿って、フロントバンパーカバーにマスキングテープを貼り付ける。

⚠ 注意

1. マスキングテープを貼り付ける際は、養生テープを剥がしながら作業し、フロントスポイラーの位置がズレないように注意してください。
2. この後、フロントスポイラーを取りはずして再取り付けする際、ここで貼り付けたマスキングテープを位置決めに使います。マスキングテープはフロントスポイラー上端に沿って正確に貼り付けてください。

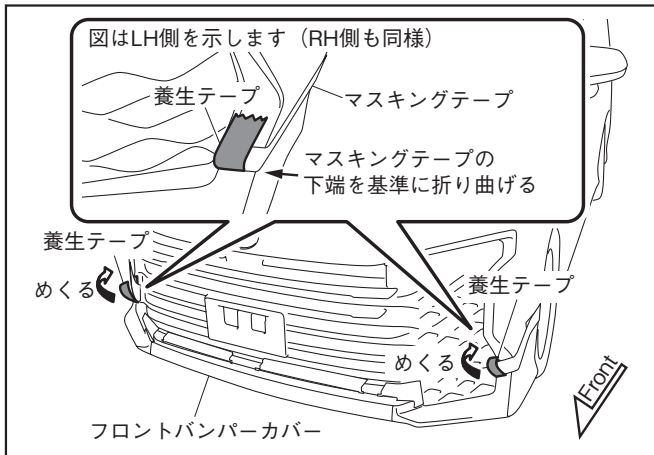
24. スクリュー (4本)、④樹脂クリップB (2個)、⑤樹脂ナット (2個) をはずす。

25. 養生テープを剥がし、フロントスポイラーを取りはずす。

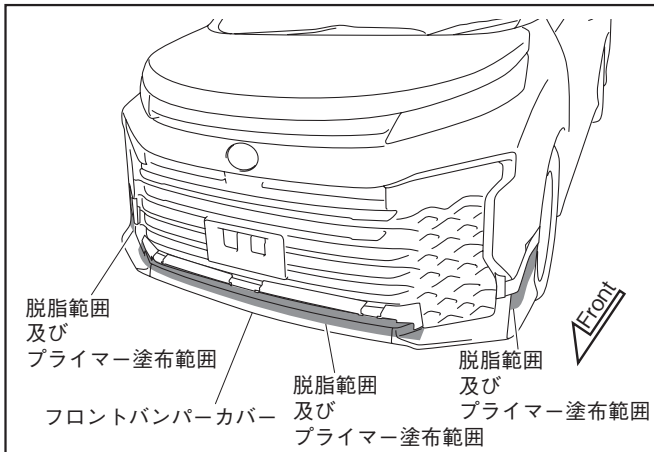
26. 加工穴 (各4箇所) のバリを取り除く。

27. 位置決め用リブ (3箇所) をニッパーで切り取る。

28. カットした箇所 (7箇所) のバリが1mm以下になるようヤスリ等で削る。



TG-BG-B14



TG-BG-B15

29. 養生テープ (2箇所) をめくり、上へ折り曲げる。

30. IPA を使用し、フロントバンパーカバーの図中脱脂範囲を一方方向に拭いて脱脂する。

⚠ 注意

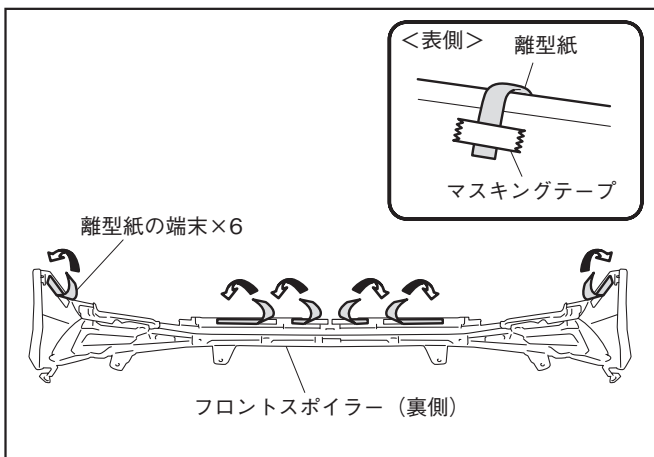
IPA を使用する際は、火気に充分注意してください。

31. フロントバンパーカバーのプライマー塗布範囲 (脱脂した範囲) にプライマーを塗布する。

⚠ 注意

1. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
2. プライマーは、プライマー塗布範囲からはみ出さない範囲に塗布してください。
3. プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちに IPA で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。

フロントスポイラーの取り付け要領

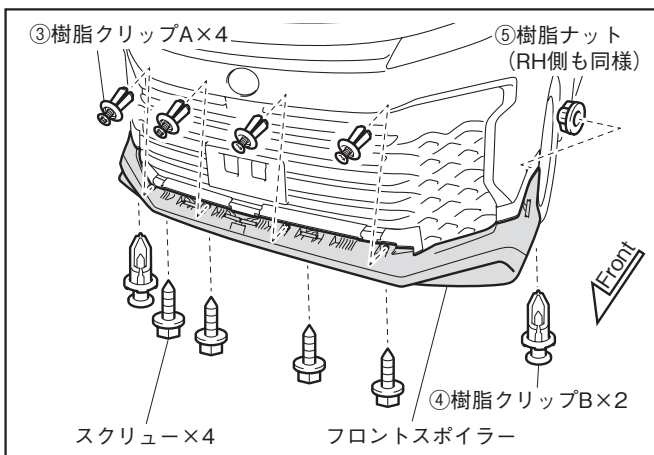


TG-BG-C01

1. フロントスポイラー裏側の離型紙の端末 (6箇所) を 50mm 程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
(図中👉部)

⚠ 注意

傷付き防止の為、必ず保護シートの上で作業を行ってください。

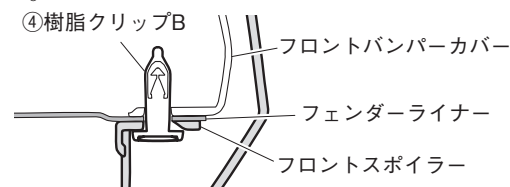


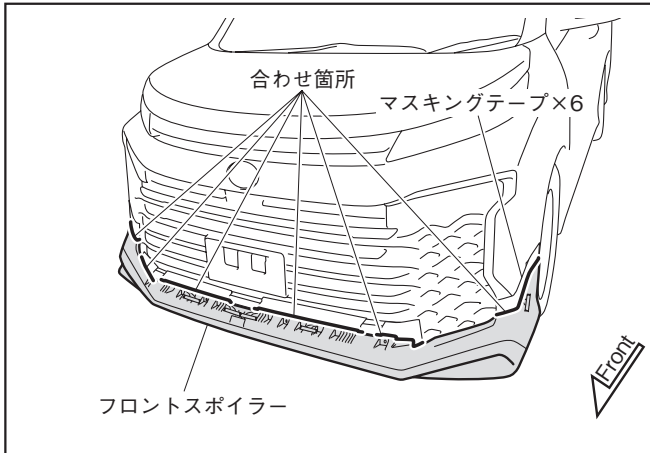
TG-BG-C02

2. ③樹脂クリップ A (4 個) を固定、⑤樹脂ナット (2 個) を仮固定、④樹脂クリップ B (2 個) を固定、スクリュー (4 本) を仮固定の順番でフロントスポイラーを装着する。

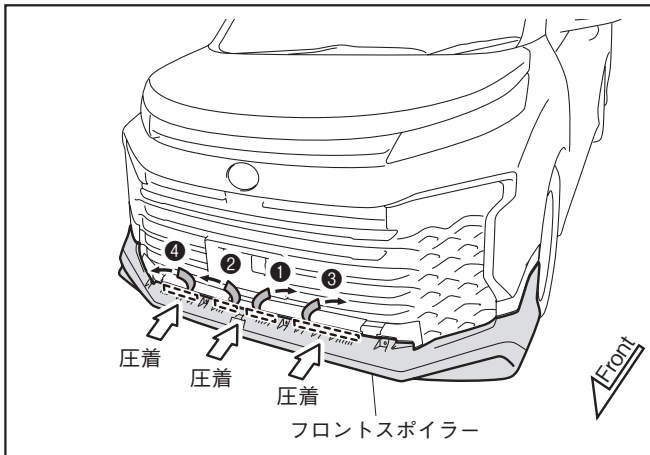
👉アドバイス

④樹脂クリップ B の固定は下図を参照してください。

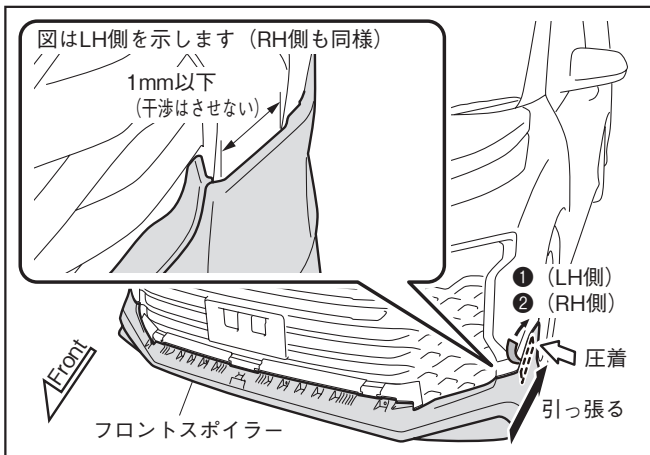




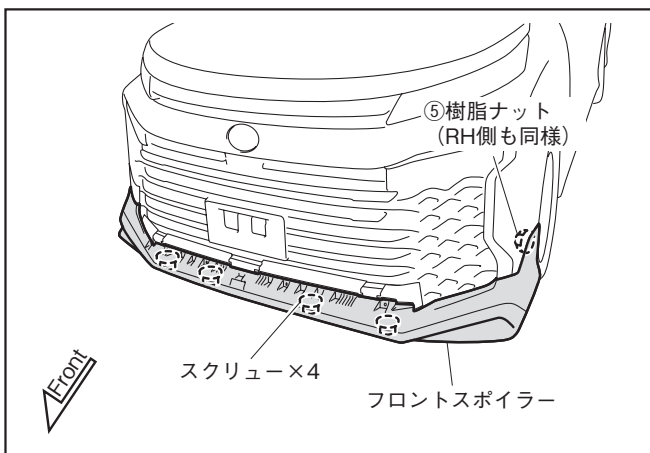
TG-BG-C03



TG-BG-C04



TG-BG-C12



TG-BG-C13

3. マスキングテープの下端とフロントスポイラーの上端を合わせ位置決めする。

4. 離型紙の端末(4箇所)を番号順に矢印方向へ徐々に引き抜きながら圧着する。

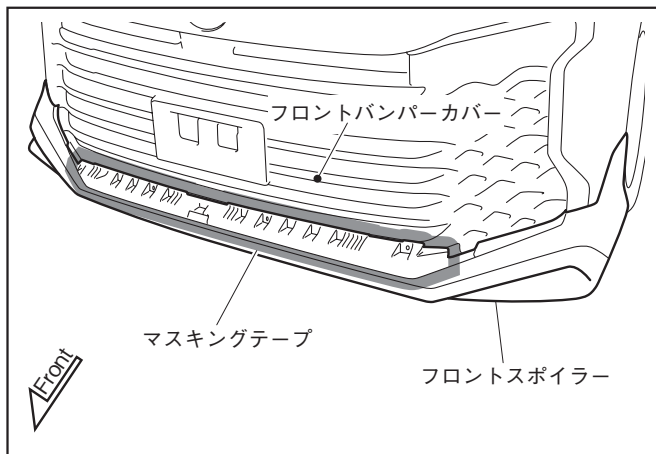
⚠ 注意

1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落のおそれがある為、取り付け後24時間以内は洗車しないでください。

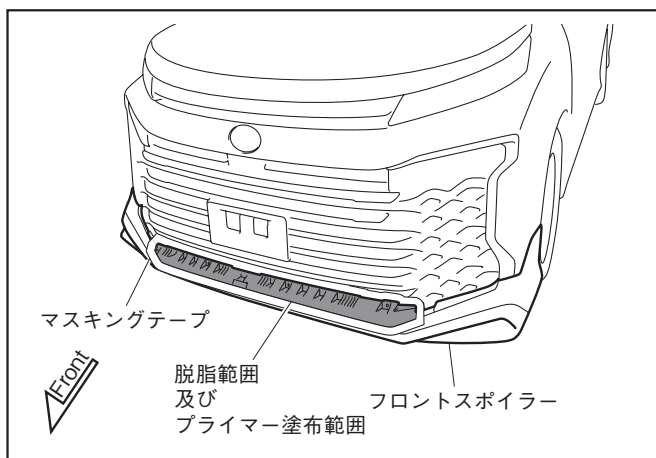
5. 図で示す箇所の隙が左右均等(1mm以下・干渉はさせない)になるようフロントスポイラーを車両後方(図中➡方向)へ引っ張りながら離型紙の端末(2箇所)を番号順に徐々に引き抜き圧着する。

6. 養生テープ、マスキングテープ及び型紙をすべて剥がす。

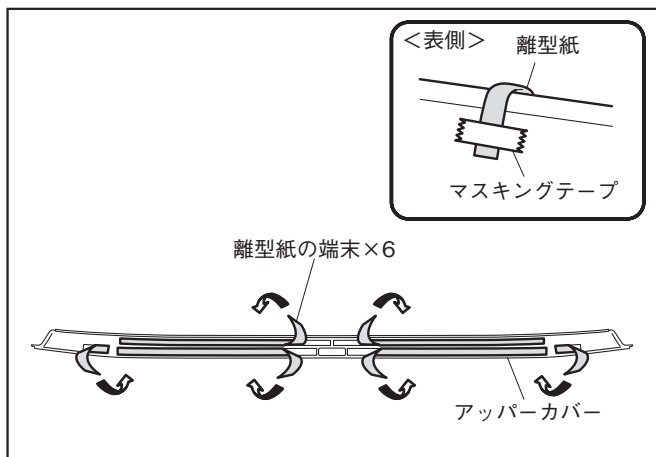
7. ⑤樹脂ナット(2個)、スクリュー(4本)の順番で増し締めし、フロントスポイラーを固定する。



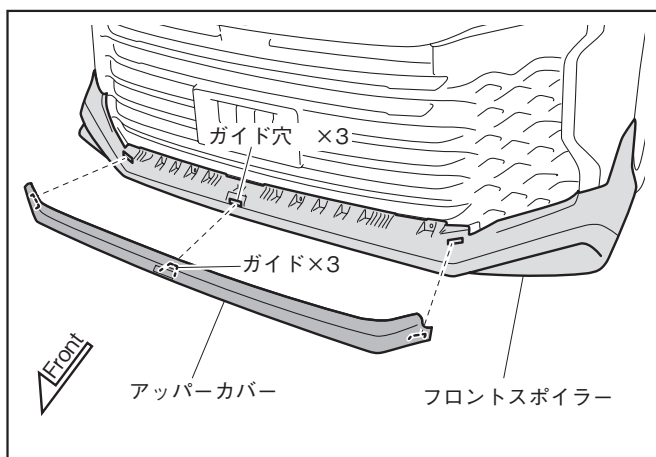
TG-BG-C18



TG-BG-C17



TG-BG-C07



TG-BG-C14

8. フロントバンパーカバー及びフロントスポイラーの図中アミ掛け部にマスキングテープを貼り付ける。

9. IPA を使用し、フロントスポイラーの図中脱脂範囲を一方方向に拭いて脱脂する。

⚠ 注意

IPA を使用する際は、火気に充分注意してください。

10. フロントスポイラーのプライマー塗布範囲（脱脂した範囲）にプライマーを塗布する。

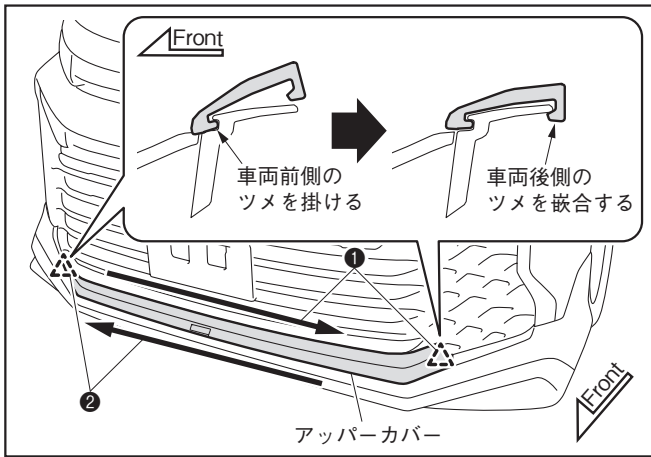
⚠ 注意

1. プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
2. プライマーは、プライマー塗布範囲からはみ出さない範囲に塗布してください。
3. プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちに IPA で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。

11. マスキングテープを剥がす。

12. アッパーカバー裏側の離型紙の末端（6箇所）を50mm程度めくり、表側へ折り曲げてマスキングテープで固定する。
（図中 ↺部）

13. アッパーカバーのガイド（3箇所）をフロントスポイラーのガイド穴に挿入する。



TG-BG-C15

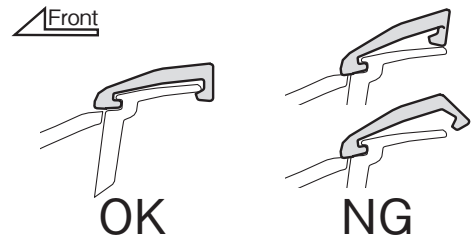
14. アッパーカバーを車両左側に寄せツメ (図中①、1箇所) を嵌合する。
15. アッパーカバーを車両右側に寄せツメ (図中②、1箇所) を嵌合する。

アドバイス

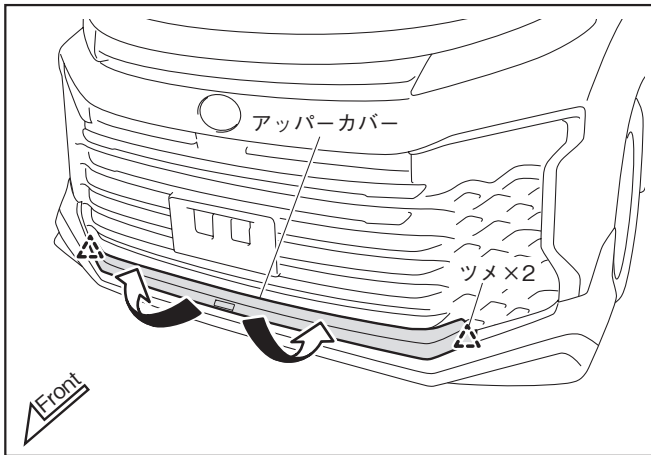
各ツメの嵌合はアッパーカバーの車両前側を掛けた後、車両後方のツメを嵌合してください。

注意

ツメが掛からない時はツメが倒れていないか確認してください。



16. アッパーカバーをたわませ、ツメが確実に嵌合していることを確認する。

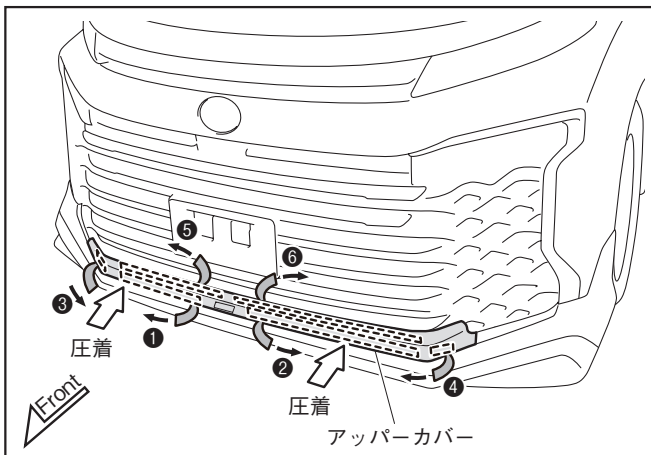


TG-BG-B16

17. 離型紙を抜く際に左右の隙が均等になるよう、離型紙の端末 (4箇所) を①～④の順に矢印方向 (横方向) へ徐々に引き抜きながら圧着する。
18. 離型紙の端末 (2箇所) を⑤、⑥を引き抜く。
19. 両面テープ部を圧着する。

注意

1. 圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、しっかり加圧してください。
2. より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落のおそれがある為、取り付け後24時間以内は洗車しないでください。



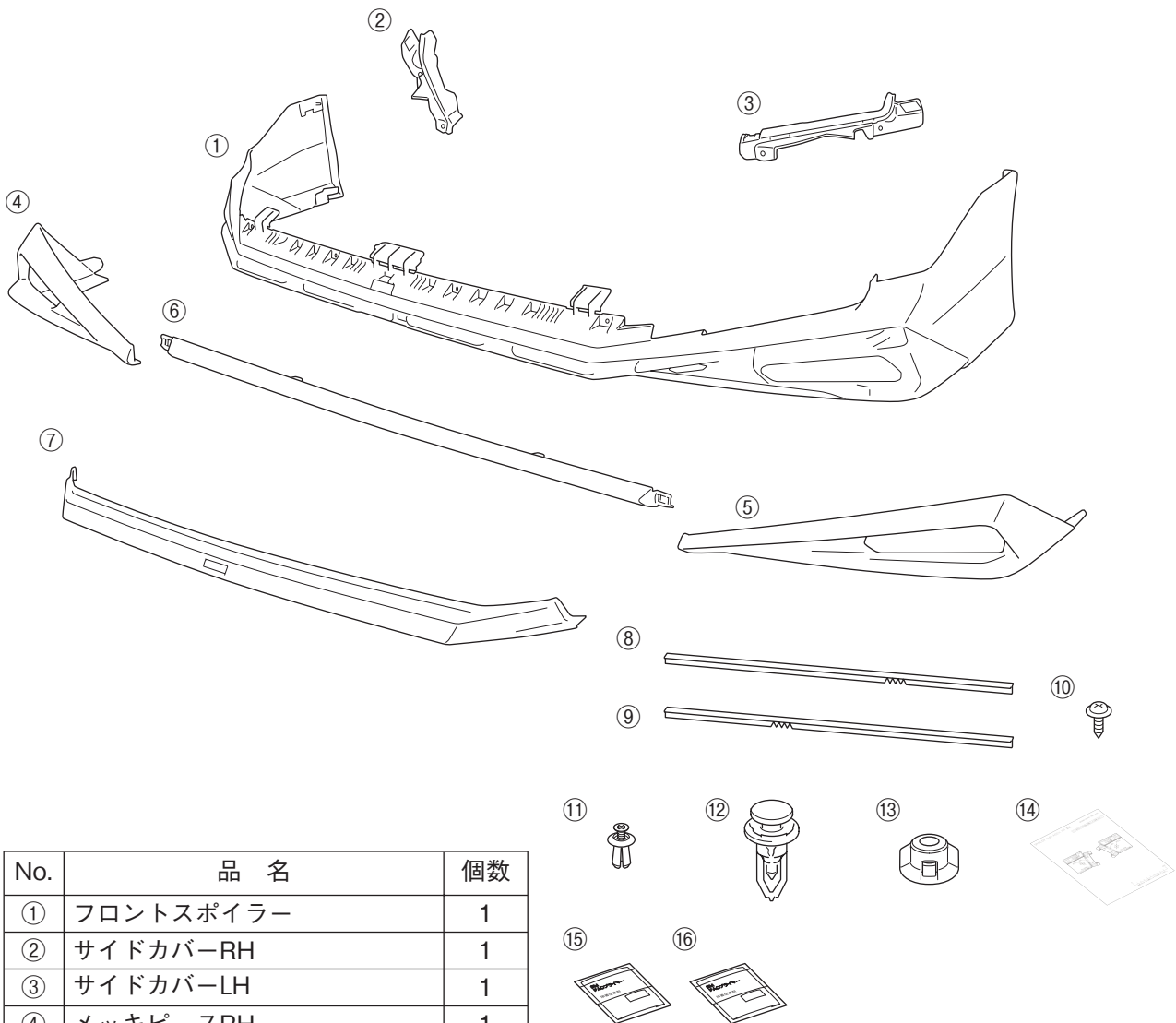
TG-BG-B10

取り付け完了後の注意事項

- (1) フロントスポイラーが車両に確実に固定されているか点検してください。
- (2) 取り付けの際、フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。
- (3) より強固な接着力を促進するため、取り付け後2～3時間はそのまま放置し、走行しないでください。また脱落のおそれがあるため、取り付け後24時間以内は洗車しないでください。

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	サイドカバーRH	1
③	サイドカバーLH	1
④	メッキピースRH	1
⑤	メッキピースLH	1
⑥	メッキピースCTR	1
⑦	アッパーカバー	1
⑧	エンドモールRH (ブラック)	1
	エンドモールRH (ライトグレー)	1
⑨	エンドモールLH (ブラック)	1
	エンドモールLH (ライトグレー)	1
⑩	スクリュー	11
⑪	樹脂クリップA	4
⑫	樹脂クリップB	2
⑬	樹脂ナット	2
⑭	型紙	1
⑮	PACプライマー N210NT	1
⑯	PACプライマー K-500	1

モール (※) 推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイパールクリスタルシャイン	ライトグレー
1K0	メタルストリームメタリック	ブラック
1L6	マッシュグレー	ブラック
218	アティチュードブラックマイカ	ブラック
220	スパークリングブラックPCS	ブラック
226	グリッターブラックGF	ブラック
3R3	レッドマイカメタリック	ブラック
4X1	スティールブロンドメタリック	ライトグレー
089	プラチナホワイパールマイカ	ライトグレー
229	ニュートラルブラック	ブラック
1M6	アーバンロック	ブラック

フロントスポイラーの塗装

- ・ 本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。
- ・ 乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
- ・ 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

※①フロントスポイラーをボデー色で塗装する。

注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。
変形しない様、形状を保持して乾燥させてください。

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、埃をウエスで取り除き、必ず脱脂作業を行う。
2. 製品に取り付けてある両面テープの全面、クッションをマスキングする。
3. プライマーサフェーサー塗装を行う。(本製品の素材は > PP < です)
4. 上塗り塗装を行う。
5. 乾燥

塗装範囲

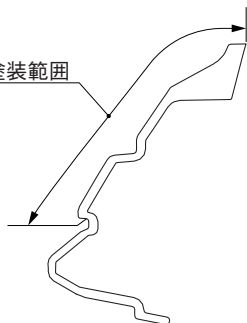
1. 下記塗装範囲をボデー色で塗装する。

👉アドバイス

モール貼り付け面は漏れがない様にマスキングしてください。

A-A' 断面

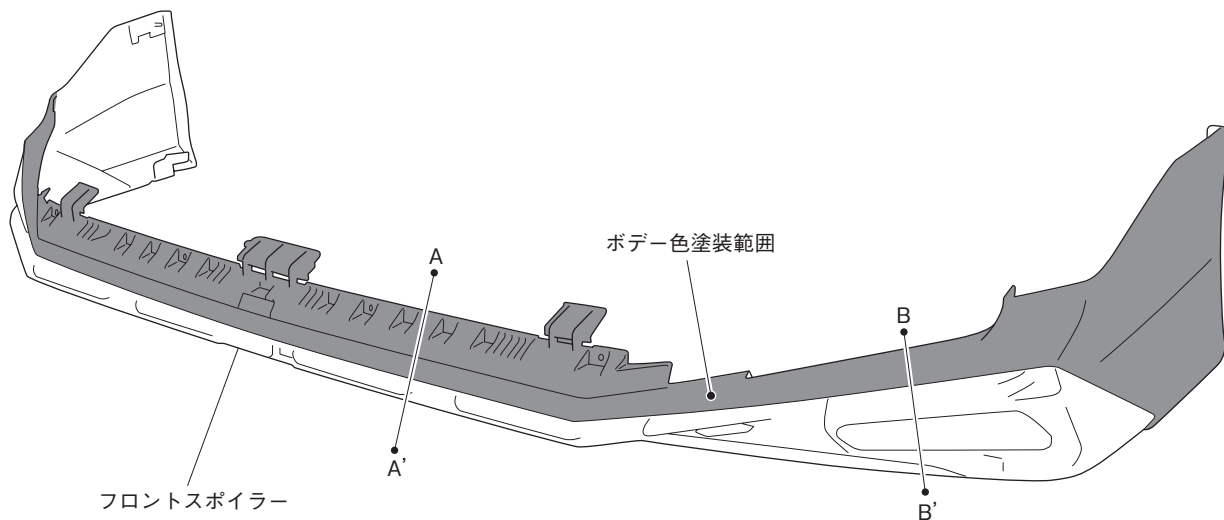
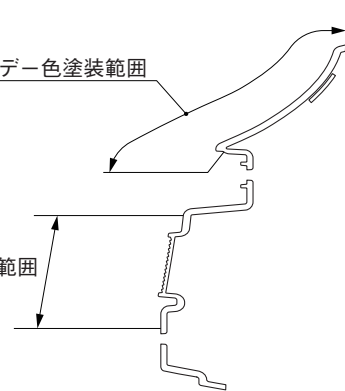
ボデー色塗装範囲



B-B' 断面

ボデー色塗装範囲

未塗装範囲



TG-BH-F01b

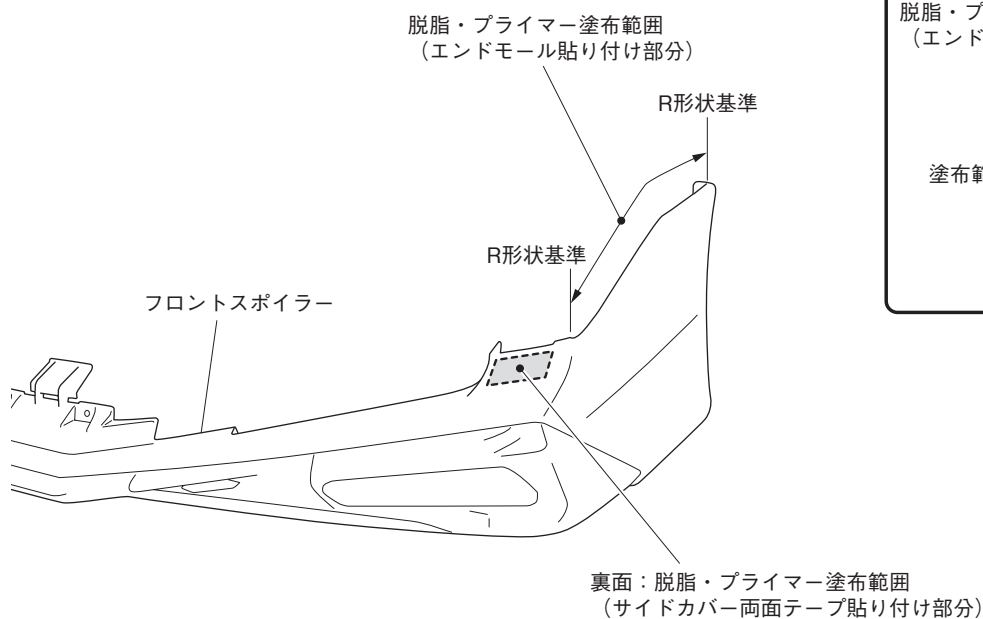
プライマーの塗布

1. フロントスポイラーのエンドモール貼り付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。
2. フロントスポイラーのサイドカバー両面テープ貼り付け部分を脱脂し、PAC プライマー K-500 を塗布する。

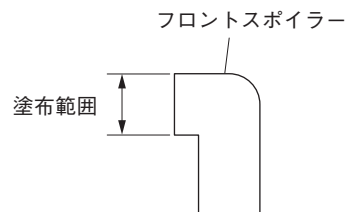
👉アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、IPA で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。

図はLH側を示します (RHも同様)



脱脂・プライマー塗布範囲 断面図
(エンドモール貼り付け部分)



TG-BH-F02

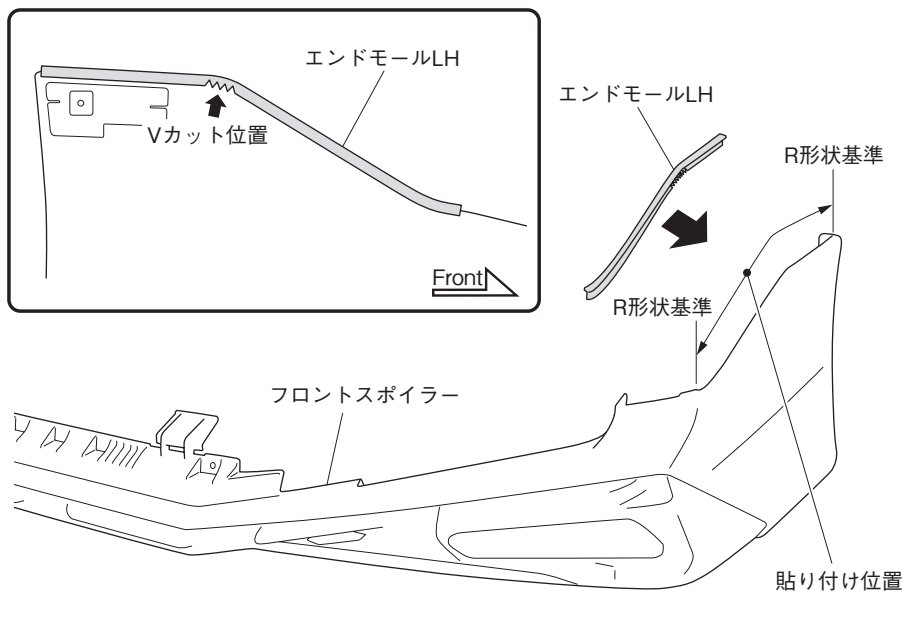
エンドモールの貼り付け作業

1. 下図の要領でエンドモールを貼り付ける。

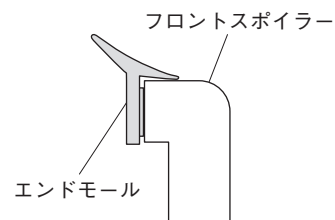
👉アドバイス

エンドモールは図の V カット位置を参照し LH と RH を間違えないように貼り付けてください。

図はLH側を示します (RHも同様)



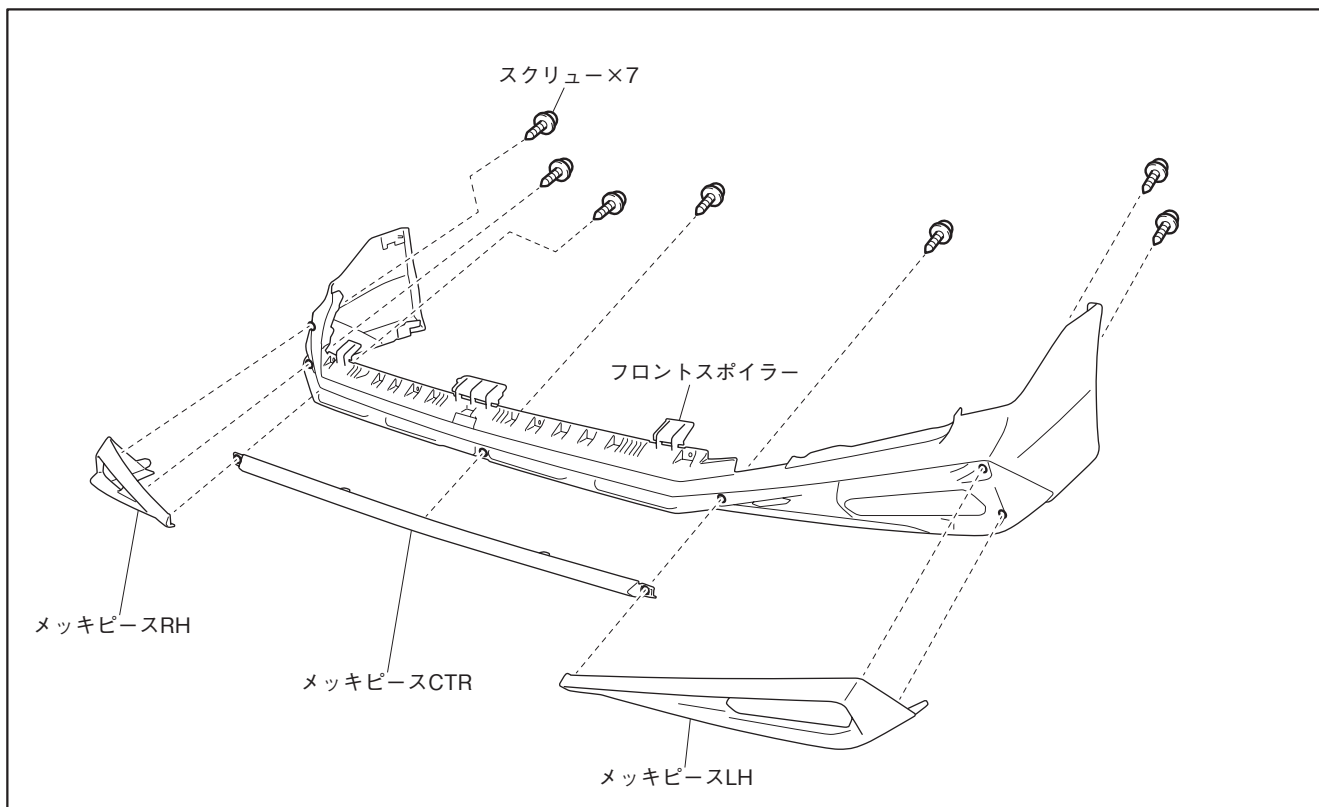
エンドモール 断面図



TG-BH-F03

メッキピースの取り付け作業

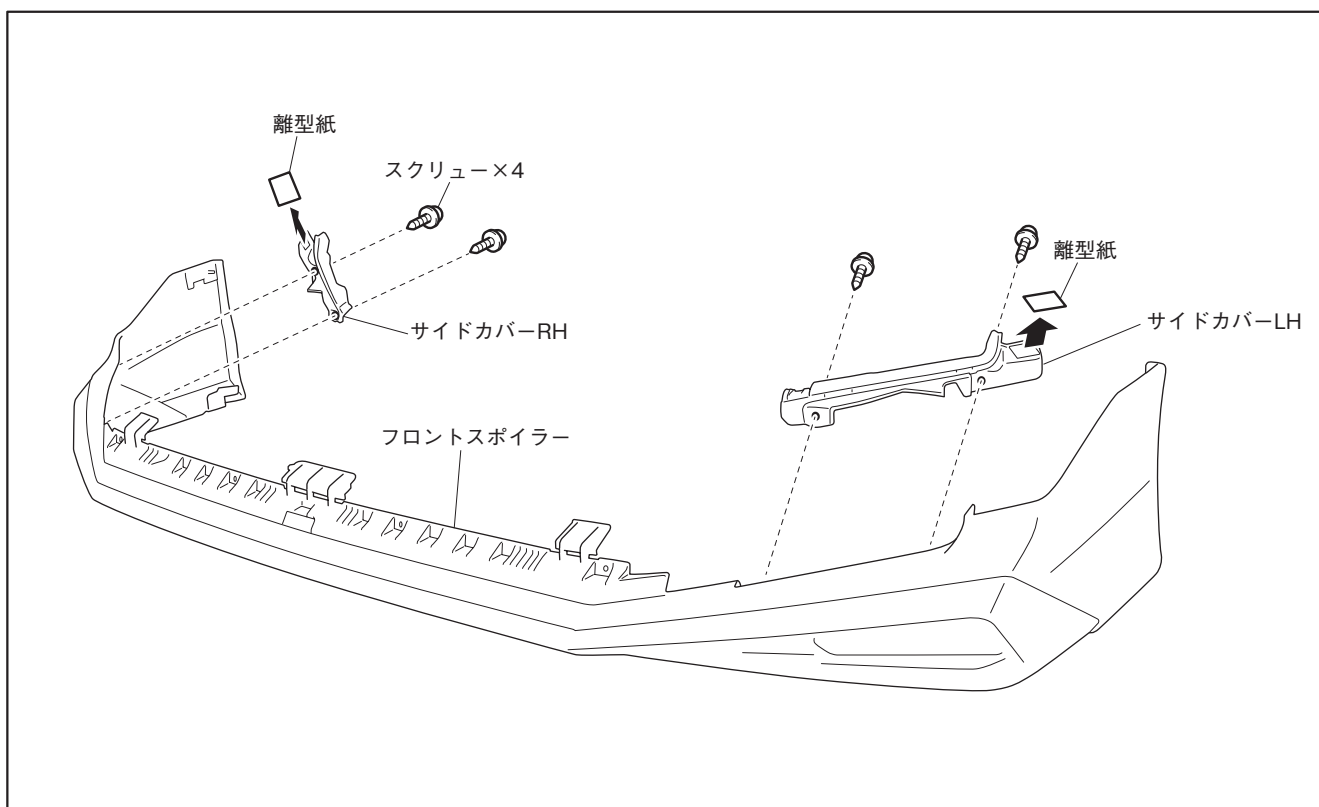
1. スクリュー（7本）で、メッキピース CTR/LH/RH をフロントスポイラーに固定する。
2. メッキ同士の隙が左右均等となっていることを確認する。



TG-BG-F04

サイドカバーの取り付け作業

1. サイドカバー LH/RH の離型紙（各1箇所）を剥がす。
2. スクリュー（各2本）で、サイドカバー LH/RH をフロントスポイラーに固定する。
3. 両面テープ部（各1箇所）を圧着する。



TG-BG-F05

補修キット両面テープの貼り付け

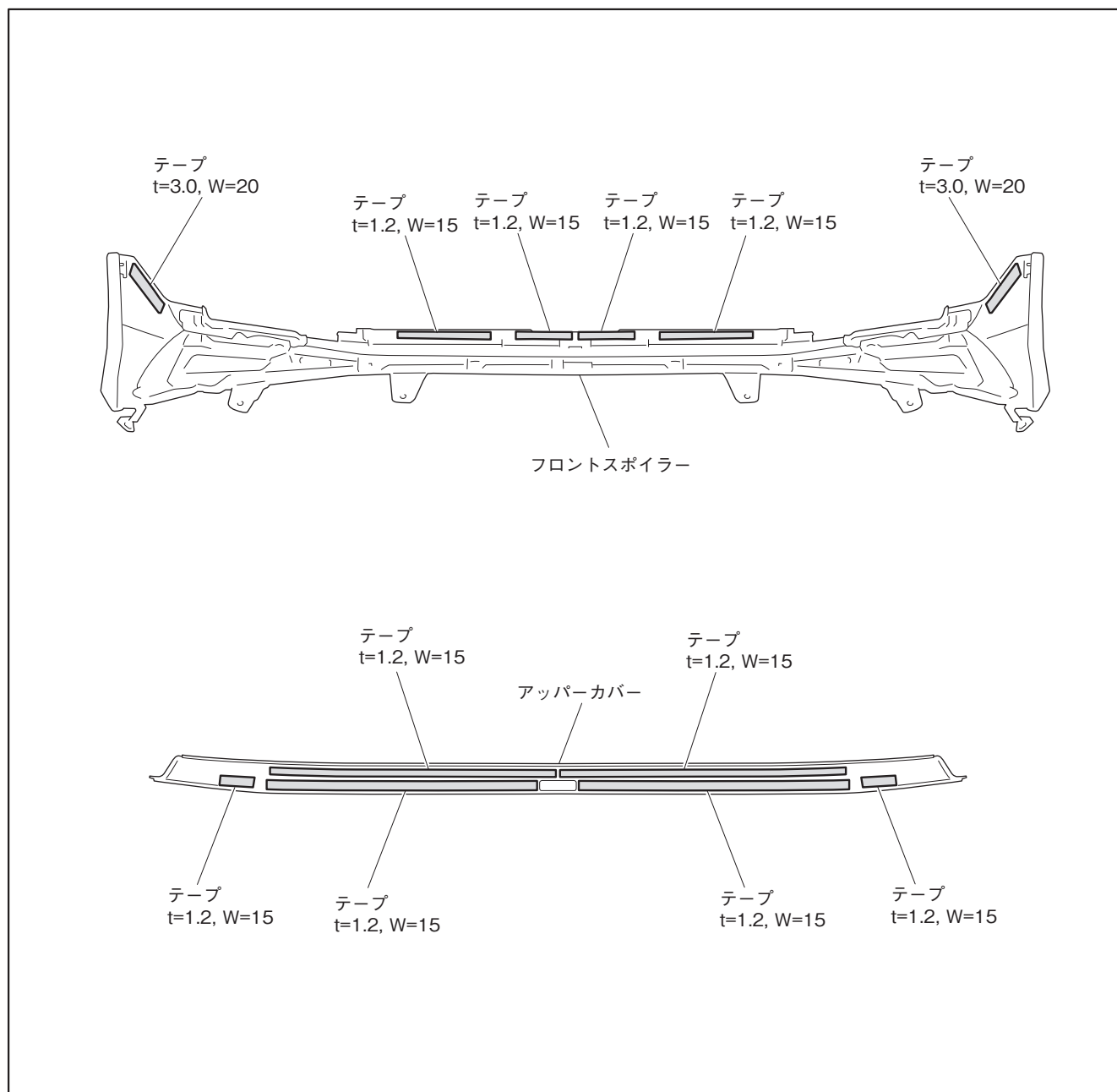
補修キットを使用してフロントスポイラー再取付けを行なう際の両面テープ貼り付けを記載しています。

1. 両面テープ貼付け部分を脱脂し、プライマー（PAC プライマー K-500 相当）を塗布する。

👉アドバイス

- ・ PAC プライマー K-500 は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、IPA で拭き取ってください。
- ・ PAC プライマー K-500 塗布後は、常温で 10 分間以上放置し、乾燥させてください。

2. 下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。



TG-BG-G01

株式会社 トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

<https://www.modellista.co.jp>

「お問合せ先」

モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

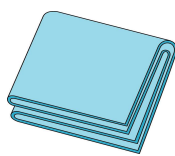


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



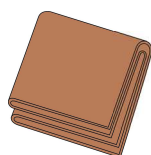
合成セーム皮



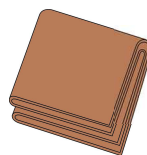
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

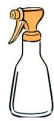


水拭き用バケツ



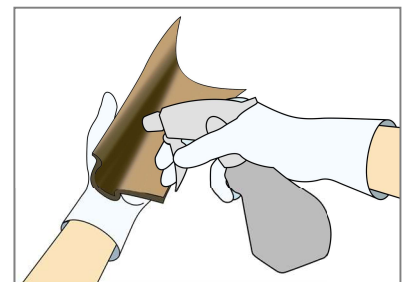
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

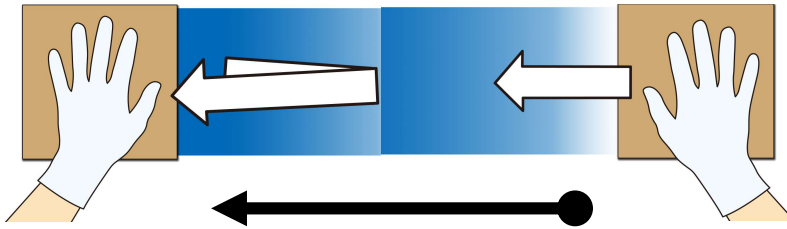
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

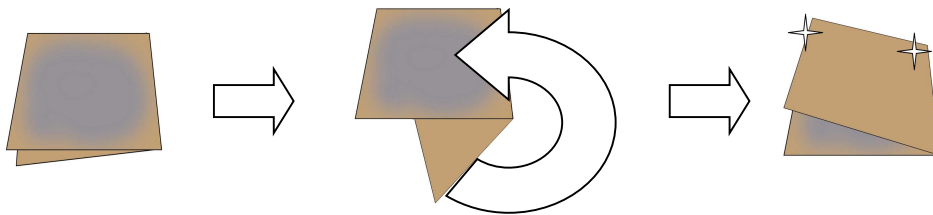
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。